

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 西岡メディカル	代表者	代表取締役 森山 洋	法人・ 事業所 の特徴	グループ法人のサービスと連携し、地域包括ケアシステムの一助となるサービスを展開できる。 地域住民との支え合いを実践している。 作成年月日：令和3年6月30日 ※新型コロナウイルス感染防止の観点から、町内会長、包括、家族、事業所職員間での書面会議とした。
事業所名	小規模多機能ホーム かいてき西岡	管理者	大木 雅広		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>事業所評価やアンケート、日々の情報交換からでた意見や要望を可能な限り取り入れられるよう業務改善を図る。またスタッフ間での情報共有を強化する。</p> <p>評価の反省や振り返りから出た課題が改善できるよう、年間を通じて勉強会などに取り組み、サービスの質向上を図る。</p>	<p>利用者の心身状態の変化等に対応する為、今年度は遅番の勤務時間を見直す等の業務改善を行い、必要な時間帯に支援体制が厚くなる様にした。</p> <p>昨年度に比べ、スタッフ間の情報共有は図れる様になってきているとの自己評価がある一方、依然として課題として残っている面もあり。</p> <p>個別援助計画書の作成ポイントや成年後見制度について等、事業所評価や年次面談で出た課題は事業所職員や包括主催の勉強会を行い知識向上に繋げた。</p>	<p>充分に取り組んでおり、懸命に取り組んでいる事は立派だと思う。</p> <p>コロナ感染予防が必要な現状にあって、職員が苦勞しているのはよく理解している。家族の面会が難しいので、利用者の様子を家族に伝えたりと引き続き情報の記録、伝達をお願いしたい。</p> <p>自己評価で課題として残っており、引き続き情報共有の強化への取り組みが必要。</p>	<p>業務改善が必要か継続的に確認する事や、課題が挙がっている事について年間予定を立てて勉強会を開催し、サービスの質向上を図る。</p> <p>自己評価の改善計画をもとに情報共有の強化を図る。</p>

<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<p>新型コロナ感染防止対策の観点から、現在外部の入館制限中だが、市内の感染者状況など情勢を確認しながら入館制限の緩和を検討する。</p> <p>1日2回の消毒作業を行い、衛生面を強化する。</p> <p>施錠時間を20:00に変更し、防犯体制を強化する。</p>	<p>入館制限は依然継続中だが、オンライン面会を用いて利用者と家族が面会できる状態を保っている。</p> <p>午前午後の消毒作業のほか、食事用のアクリル板購入、換気など新型コロナウイルス感染防止対策を行っている。</p>	<p>花や季節ごとのディスプレイ等心和む装飾が素敵。</p> <p>入館制限を行っている中でも家族との面会の機会が持てる様工夫していた。</p>	<p>引き続き感染防止対策に取り組み、コロナ情勢を鑑みながら利用者と家族が交流できる機会を検討する。</p>
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>相談窓口の一つとして機能できるよう、地域からの相談や協力要請に対して、相談対応や支援を行う。</p>	<p>コロナ禍の為、地域推進運営会議は書面会議としているが、回覧にて町内や包括など地域の意見を確認するようにしている。</p>	<p>笑顔で挨拶するなど感じが良く相談しやすい雰囲気である。</p> <p>包括で対応していた処遇困難ケースの相談に乗ってもらえ、とても相談しやすい事業所であると感じる。</p>	<p>普段から相談しやすい場所であれば、研修の開催などで接遇への意識向上を図ることや、ホームページでの呼びかけを行う。</p>
<p>D. 地域に向いて 本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>新型コロナ感染防止対策の観点から、町内での行事や集まりも延期や中止となっている。事業所でも不要不急以外の外出を自粛協力頂いている状況から、今後の情勢を確認しながら、外出を継続する。また希望や参加可能な利用者は、地域行事に参加できるよう支援する。</p> <p>地域推進運営会議を通じて、地域の状況を確認しながら、必要時は地域住民に対しての協力や支援を行う。</p>	<p>コロナ禍であり外出行事の開催を自粛していた為、事業所の中で過ごす事が大半であった。また、町内会の行事も自粛されていた。</p>	<p>コロナが収束したらまた近隣への外出などをお願いしたい。</p> <p>コロナ感染拡大の影響で、外部との繋がりや活動の機会を持つことは難しかったと思う。今後、情勢を確認しながら再開してもらいたい。</p> <p>車から降りないドライブなど、事業所の中に居るだけではなく気分転換が図れる配慮も必要。</p>	<p>コロナ情勢を確認し、感染防止対策を施しながら外出行事の再開ができるようにする。また、雪まつりなどオンライン開催をしている催しへの参加も検討する。</p> <p>地域推進運営会議を通して地域の行事の確認を行い、参加や協力ができるようにする。</p>

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>地域推進運営会議や地域ケア会議での情報共有を継続し、地域での困り事や課題を把握し、課題解決の取り組みや協力を行う。</p>	<p>地域推進運営会議は書面にて継続し、情報共有を継続する事ができた。 地域推進運営会議内で地域から意見要望は聞かれなかったが、包括から支援が必要な住民の情報提供等で連携を図っていた。</p>	<p>地域推進運営会議はコロナの状況を鑑みながら書面会議のみならずオンラインの活用も検討するのだろうか。</p>	<p>コロナ禍でも地域推進運営会議は継続して運営できるよう、書面やオンライン会議（例として、ZOOMを用いて家族は事業所に来て、町内の参加者は包括に来て一緒に参加するなど）を行い、地域の困り事や課題の共有、事業所の近況報告ができるようにする。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、6月予定の防災訓練は延期したが、代替として勉強会を開催予定。今後も情勢等を確認しながら、町内会など地域住民との協働による防火、防災訓練を継続する。 災害時は地域の情報や状況を確認して協力する。</p>	<p>防災訓練は中止となったが、備蓄品や設備点検は防火管理者を中心に行っており災害時の備えは継続できていた。 防災訓練中止の代替の勉強会開催には至らなかった。</p>	<p>町内会の防災訓練が完全ではないので今後も参加を願う。 地震や災害の際の安全確保を引き続き期待する。</p>	<p>令和3年度も防災訓練は延期している為、勉強会の開催等を防火管理者と共に検討し、職員の防災意識が高まるようにする。 有事の際は状況確認や情報収集をし、地域の協力ができるようにする。 災害や感染症による業務継続計画（BCP）の策定を行う。</p>